

西知多医療厚生組合
新病院建設だより
(第9回)

公立西知多総合病院
建設工事に着手



▲建設現場 (25年9月14日撮影)

工事の概要

新病院の本体工事が始まりました。今後の工事スケジュールと病院がどのような方法で造られるのかをご案内します。

現在、掘削工事が終わり、建物の土台となる基礎躯体工事が進んでいます。

基礎躯体工事後、地階から順次鉄骨を組み上げる躯体工事を進め、26年4月ごろには骨組みが完成して、新病院全体の形が確認

できるようになります。

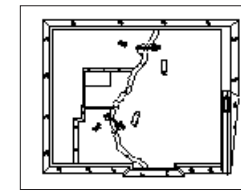
最後に、外壁工事と内装工事を進め、病院本体の工事は27年1月に完了します。

なお、敷地内の外構工事などは病院本体の工事後も引き続き行なっていく予定です。

工事の進捗状況は、西知多医療厚生組合のホームページでも随時お知らせしていきます。

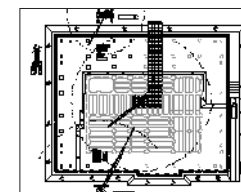
また、新病院のイメージ動画も公開していますので、ぜひ、ご覧ください。

①掘削工事 (平面図)
(25年7月～9月)



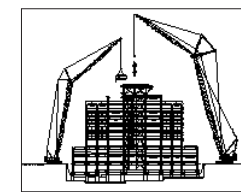
基礎を造るために地盤を掘る。

②基礎躯体工事 (平面図)
(25年9月～12月)



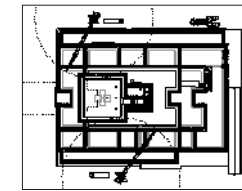
鉄筋コンクリート造の基礎を造り、その上に免震装置を設置する。

③躯体工事 (断面図)
(26年1月～4月)



鉄骨を組み立てた後、床のコンクリート工事を行う。

④外壁工事 (平面図)
(26年5月～8月)



外装材を大型クレーンで吊り上げ、設置後、塗装やタイルで仕上げを行う。

⑤内装工事 (断面図)
(26年4月～27年1月)



建物内部の床や壁、天井を仕上げる。

⑥病院本体工事の完了
(27年1月)



(イメージ図)

今後のスケジュール

25年度	26年度	27年度
建設工事 (19か月)	開院準備	★新病院開院
掘削工事		27年1月 本体完成
基礎躯体工事		
	躯体工事	
外壁工事		
内装工事		



建設工事安全祈願祭

25年6月23日、新病院建設地(中ノ池)にて西知多総合病院の建設工事安全祈願祭が執り行われました。

当日は関係者約120人が出席し、建設工事の安全と、病院が無事に完成することを祈願しました。

新病院の機能強化と救急医療編

○救急部門
新病院では、救急科を設置し、救急車を確実に受け入れる体制を整えます。

また、隣接したエリアに高機能なCTやMRIを配置するとともに、手術部門へのスムーズな動線も確保し、救急患者専用の病床を12床隣接します。

○ICU (集中治療室)

8床のICUを手術室と救急病棟に隣接して設置し、症状が重篤な救急患者、急変する恐れのある患者、手術後で集中的な治療・症状観察が必要な患者を対象に、高度で専門的な診療や看護を提供し

ます。

○緊急性の高い疾患への対応強化
緊急性の高い脳血管疾患、心疾患への対応を強化するため、脳神経外科や循環器内科の充実を図り、24時間治療が行える体制を整えます。重症患者の検査、治療が速やかに行えるよう、手術室やICUに隣接して、血管造影室やCT検査室を配置します。

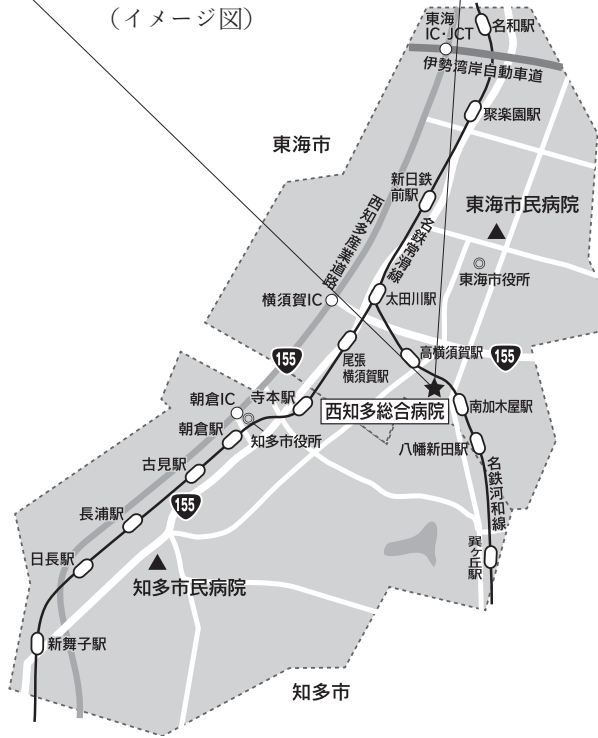
○ヘリポートの設置

新病院の屋上には、ヘリポートを設け、患者の搬送や受け入れを可能とします。

また、災害時の救援物資の安全な受け入れを可能にします。



(イメージ図)



～問い合わせ先～

〒476-0003
東海市荒尾町丸根1番地
西知多医療厚生組合
新病院建設課・経営企画課
●電話 052-603-2271
●FAX 052-603-2717
●ホームページ
<http://www.nishichita-aichi.or.jp/>

病院長予定者のあいさつ



◎西知多医療厚生組合
医療監・浅野昌彦

○病院長予定者の略歴

昭和55年名古屋大学医学部卒、袋井市民病院で臨床研修後、平成3年同大学医学部大学院卒。

愛知県立尾張病院などで勤務。

20年より知多市民病院勤務。25年4月に西知多医療厚生組合医療監に就任。

25年4月に西知多総合病院長(予定)を拝命しました浅野昌彦です。

この新病院は、東海市民病院と知多市民病院を統合して、知多半島北西部に求められる救急医療や質の高い医療サービスを安定的に提供し、地域の医療機関が安心して患者さんを紹介できる地域完結型の中核病院を目指します。

現在、27年度の開院に向け建設工事を着々と進行しており、今後は新病院で提供する、より質の高い医療内容についても情報提供をしていきます。

今後ともご支援をよろしくお願いいたします。